

< 5月号 >



朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校
平成29年5月1日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1
TEL 048 (464) 7575
FAX 048 (460) 2280

<目指す学校像> 一人一人が輝き 笑顔あふれる学校

学校と家庭・地域との連携

校長 九鬼 武



本校正門の前に、体育館半分ほどの広さの“みつばちファーム”（学校農園）があります。これは地主の方のご厚意で学校が活用させていただいているもので、2学年の「総合的な学習の時間」や特別支援学級の「作業」の時間に野菜や根菜類の栽培活動を行います。先月、2年生の生徒全員で雑草を抜き取り、シャベルで土を耕し、仕上げに保護者のご協力でトラクターを使って整地をしていただきました。おかげで深く土を耕した見事な“みつばちファーム”が出来上がりました。

作物を育てる際に、土を細かく、深く耕しておけば、作物はそれだけ根も深く張ることができ、立派な野菜や根菜類の収穫が期待できます。作業をした生徒たちも、これからの栽培活動に期待を膨らませていました。

さて、4月は1年間のスタートの月で、先月は、どの学年や学級でも、新たな学年での学校生活の意義や心構え、授業に臨む態度等を指導し、学級目標や係・委員会、生活班等を決めるなどして、1年間の学校生活の基盤作りを行いました。

現在、遅刻する生徒はほとんどいませんし、静かに自分たちで朝読書が始められ、授業中も教師の話を落ち着いて聞いています。校庭からは体育の授業の元気な掛け声が聞こえてきます。体育館での朝会も時間前に整列し、私語もなくしっかりと話を聞いています。

先ほどの“みつばちファーム”の整地と同じで、始めにしっかりと指導して（耕して）おくことで、その後の指導の効果や、生徒の成長の度合いが随分と違ってきます。

5月となり、1年生の部活動も始まり、20日（土）の体育大会に向け、学年や学級での練習も始まります。“みつばちファーム”が、学校でのシャベルによる作業に加え、保護者によるトラクターでさらに深く耕すことができたように、これから1年間の様々な学校での教育活動におきましても、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力を頂きながら、より深く、充実した教育活動を推進し、三中の生徒たちを心身ともに一層大きく成長させたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



第45回入学式



対面式での部活動紹介



みつばちファームの整地